

6回
シリーズ

公民館等職員研修

～「種」から住民とともに育てる事業を通した人づくり～



R6. 10. 22(火):いわみーる

第4回「紹介しよう！私の社会教育実践」

【アイスブレイク】



言葉だけで伝えるのって難しい



思わず指が出ます



見本の絵は…お二人ともよくかけていました

<人間コピー>

2人1組になり、1人は、ホワイトボードの裏に貼ってある絵を見にいき、もう1人に言葉だけで絵の内容を伝え、かいてもらう。「こういうふうに…」と、指で空(くう)に示すことは禁止。時間内だったら、何度でも絵を見に行くことは可能。



【情報交換】進捗状況紹介コーナー ①事業の実際について紹介 ②相談タイム

○かわもとサマーチャレンジイベント○

夏休み期間中に、小学4～6年生を対象に様々な体験活動を企画。協力者は、中高生や住民、地域で活動している団体など。中高生には、普段かかわることのない人とかかわってほしいという思いがあった。主体性を高めるために、協力者の得意を生かす、無理強いをしない、楽しむなどを心がけた。高校生は積極的な動きを見せ、自主性も生まれたように思う。またこの事業を手伝いたいという中高生も増えてきた。



○お月見どろぼう○

子どもたちが、夜地域にでかけお供え物をもって歩くイベント。数年前に行われていたものを、センター主催から若者部会へその役割を委任する。この事業で若者部会の活動の周知、活性化を図る。他に、地域住民や読み聞かせの会、保育所、運営推進委員会なども協力者に。やってみたいこと、楽しそうなこと、子どもたちへの思いを出してもらった。アンケートを工夫し、集めた結果は満足度が高いものだった。協力者には、自発的な動きが見られた。また、当日の参加者が入会した。



○土曜夜市 with 南高台祭り○

これまでのメンバーに加え、南高台に住む若い方にまちづくりに参加してほしい願いから協力者になってもらう。また、中高生が考えた地域活性化案を実現したいねらいもあった。中学生が考えたキャラクターとシンボルマークを塗り絵やシールにしたことで、中学生の主体性がアップした。また、今回かかわったことで「いい経験をした」という感想も聞かれた。アンケートから協力者のやりがいが高いのもわかったが厳しい声も聞かれた。ふり返りを生かし、これをきっかけに他の事業への参加の増を図っていききたい。



【説明】プレゼンテーションのポイント

・情報提供とは…社会教育法32条2に、「運営の状況に関する情報の提供」が示されている。

○理解を深め、連携・協力を進めるために、情報提供が必要

なぜ分かりやすく共感しやすい方法で伝えるのか？

○地域住民のつながりづくりや学習意欲喚起のために

分かりやすく共感しやすい方法で伝える技術は必要不可欠

分かりやすく 共感しやすい方法で 情報を伝えるために大切にしたい 7つのこと

その1 目的を明確にしましょう！

何のために伝えるのか(目的)を明確にする

その2 とことん聞き手目線で準備しましょう！

聞き手のことを具体的にイメージする(伝える相手を分析)

その3 まずは構成を検討しましょう！

伝えたい情報のまとまりを整理する(伝える順番)

代表的な構成法 (SDS法)

その4 根拠で説得力を持たせましょう！

根拠

意見 + 数値グラフ = 説得力
主張 + エピソード = アップ
写真、実物

その5 言葉の力を高めましょう！

- ①大きな声で届けよう
- ②つなぎ言葉で物語をつくらう
- ③無駄をそいで言葉を磨こう

その6 言葉以外の力も高めましょう！

- ①目線を意識しよう
- ②表情で共感を生もう
- ③体を使いこなそう

その7 レイアウトと配色でストレスを低減させましょう！

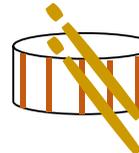
資料は話の内容を補助するもの
要点を理解しやすいデザインにすることが大切

プレゼン体験「自分のことを伝えよう」

フットサル熱が再燃!!



子どもの初発表会
楽しく感動した
ドラムコンサート



郷土料理教室を実施



【演習】プレゼンテーション作成



【演習】ミニリハーサル

- ①作成しているプレゼンの冒頭5分間を、1人ずつ実演する。
- ②良い点や感想を伝えあう。



【ふり返り】(次回への意気込みや、これまでの学びで大切にしたいこと。協力者・スタッフからのエール)

(受講生)
☆狙ったことがどうなったかを明確に伝える。
☆楽しむ。
☆言葉以外でも伝える。

(協力者から)
○今日の続きが聴きたくなりました。楽しみです。
○安心してください。
○どの実践も素晴らしい内容です。自信を持って楽しんで発表してください。
○「まあ、人を食っているから」by吉田茂

(スタッフから)
◇社会教育流儀 集って楽しんで何かが始まる。
→学んで動いて変えていく
◇自分らしさ+技術→最高の発表!
◇立案 準備 実践 プレゼン
事業の先へ チャレンジを!



今年度の受講生

受講者アンケートから (一部抜粋)

- ・ミニリハーサルで他の人の発表が聞けて参考になった。人数の少ない中での発表すら緊張したので、事前に練習をしっかりとしてスムーズな発表をしたい。
- ・事前にプレゼンテーションの練習ができて良かったです。当日、人を見てやる気持ちで頑張ろうと思った。
- ・とても説明がわかりやすかった。

